

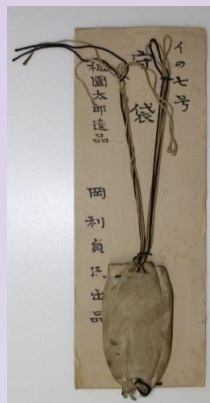
明治維新150年・小城市立歴史資料館テーマ展

祇園太郎和歌 (2首)

もゆるおもひに—祇園太郎が生きた幕末—



煙草入 (祇園太郎遺品)



守袋 (祇園太郎遺品)



佐野竹之助メリヤス小手 (祇園太郎遺品)

H30.12.22(土)~H31.3.24(日)

9:00~17:00 **入場無料**

【休館日】

毎週月曜日、12/29(土)~1/4(金)、
1/15(火)、2/12(火)、3/21(木)

※1/14(月)は開館します。

小城市立歴史資料館常設展示室
(桜城館2階)

幕末に小城郡西郷の大庄屋であった古賀利涉(こがとしゆき、1833~1866)は「垂乳根は我行かたを不知火のもゆるおもひに身をこがすらむ」など和歌二首を残して脱藩しました。脱藩後、利涉は「祇園太郎」と名乗り志士として活動します。今回の展示では遺品および関係資料を通して、その活動や後世の顕彰について紹介します。

※お問合せ先

小城市立歴史資料館

〒845-0001

佐賀県小城市小城町158-4

TEL0952-71-1132

e-mail: bunka@city.ogi.lg.jp

***展示案内**

職員による展示解説をおこないます。

- ・各回11時・13時~(15分程度)
- ・1月12日(土)、1月19日(土)、2月9日(土)、3月9日(土)



小城市立歴史資料館テーマ展示 もゆるおもひに—祇園太郎が生きた幕末—

	資料名	作者/差出人	時代	所蔵	内容
1	和歌(2首)	祇園太郎	江戸時代後期	寄託	安政5(1858)年8月の深夜、祇園太郎は3人の訪問者に切腹を迫られる。そのため、彼はこの和歌2首を残して脱藩した。
2	今様	祇園太郎	江戸時代後期	寄託	文久4(1864)年2月10日、勅使である正親町公董(1839~1879)の九州派遣に際し、祇園太郎は筑前福岡藩の中村円太とともに随行を命じられた。しかし攘夷の廟議が一変し、勅使は筑前黒崎を経て帰京の途につくこととなる。この今様は、祇園太郎が旅の慰めにと公董に贈ったもの。
3	和歌	祇園太郎	江戸時代後期	寄託	正親町公董との別れに際し、公董からの言葉に感謝して詠んだもの。
4	煙草入		江戸時代後期	寄託	祇園太郎の遺品。正親町公董からもらいうけたもの。展覧会(昭和時代カ)の説明札に付けられている。
5	守袋		江戸時代後期	寄託	祇園太郎の遺品。正親町公董からもらいうけたもの。展覧会(昭和時代カ)の説明札に付けられている。
6	和歌		江戸時代後期	寄託	佐野竹之助(1840~1860)のメリヤス小手について詠んだもの。
7	佐野竹之助メリヤス小手		江戸時代後期	寄託	祇園太郎が大老の井伊直弼(1815~1860)を襲撃した水戸藩の浪士からもらいうけたもの。
8	東久世通禧書	東久世通禧	明治時代カ	寄託	祇園太郎碑の落成報告祭が開催されたことを詠んだもの。東久世通禧(1833~1912)は碑の題字を担当した。
9	志士祇園太郎		大正時代	寄託	新聞に全13回連載された記事、掲載紙不明。
10	古賀利涉遺愛刀之銘	太田保一郎(撰) 陣内巖(書) ※岡利貞高嘱	昭和7(1932)年4月	寄託	太田保一郎(1860~1951)は小城出身で学習院教授をつとめた人物。
11	御礼状	肥前史談会、徴古館	昭和14(1939)年10月	寄託	昭和14(1939)年10月9日から開催された勤皇事績資料展覧会にあたって、遺族による祇園太郎の遺品の出品に対するお礼などが綴られている。
12	説明札		昭和時代カ	寄託	祇園太郎の遺品の出品が、息子の岡利貞(1857~1941)と利貞の娘ウシキヨ(1889年生まれ)によって行われたことがわかる資料。出品された時期に、祇園太郎が顕彰されるべき人物の一人としてみられた可能性がある。
13	郷土勤皇烈士 追慕座談会	千住武次郎ほか14名	昭和18(1943)年2月18日	寄託	掲載紙不明、年月日は記事の裏から判明した。
14	山水画	牧山涉(祇園太郎)	嘉永7(1854)年	寄託	祇園太郎が描いた山水画。右上には漢詩が書かれている。 ※常設展「私たちの郷土小城」にて展示。